

昭和二十六年四月二日受領  
答 弁 第 七 四 号

(質問の 七四)

内閣衆質第七四号

昭和二十六年四月二日

内閣総理大臣 吉田 茂

衆議院議長 林 讓 治 殿

衆議院議員天野公義君提出足立局電話を市内電話に編入することに関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

衆議院議員天野公義君提出足立局電話を市内電話に編入することに関する質問に対する答弁書

足立電話局を市内電話に編入する計画は、その実現方に鋭意努力してきましたが、昭和二十五年度におきましては、予算に制約されまして実現は不可能となりました。又昭和二十六年度におきましても、同様の理由で、全面的な編入は不可能となりましたので、編入計画の第一次段階としまして、足立電話局と、浅草電話局との間に中継ケーブル一條(四百対)を新設しまして、回線不足を救済し、即時通話の接続状況を改善することにしまして、編入は昭和二十七年以降におきまして、早急に着手する計画であります。

右答弁する。